

2006年度人間力アカデミー委員会事業報告書

LOMインフラ室 室長 中垣 功
人間力アカデミー委員会 委員長 梅木公能

1. 委員会開催日 (20回)

1/7 1/19 1/26 2/13 2/18 3/6 3/13 3/27
4/5 4/21 5/9 6/13 6/27 7/21 8/22 9/26
10/5 10/16 11/27 12/22

2. 事業報告

例会の担当	3月16日、10月19日
オリエンテーションの開催(3回)	6月28日、7月26日、8月30日
西尾張6JC合同オリエンテーションの担当	7月3日
わんぱく相撲 海部津島場所(5月例会)への参画	5月27日
JCデー(8月例会)への参画	8月27日
わんぱく相撲 愛知ブロック大会への参画	6月18日
新入会員の募集	通年
新入会員拡大の担当	通年

3. 委員会メンバー

梅木公能 宮崎 純 武藤將史 後藤哲哉 堀 正嗣 飯尾裕光 豊住 崇 加藤智也
青山 巧 大谷悠介 大和田剛 落合勇夫 佐藤惣一 宮崎敏久 山路大紀

4. 反省点及び申し送り事項

当委員会では、「思いやりの心」や「積極的に行動すること」の意味の大切さを学び、こころ豊かなメンバーの育成を行うことで、LOMの基盤がより強固なものになるよう取り組んでまいりました。人間力の基盤となる「思いやりの心」や「積極的に行動すること」についてご理解頂きましたが、人間力開発を行うには到りませんでした。私たちメンバーが社会起業家となることが、個と公の調和の取れた活力と知力の溢れる社会の実現が一日も早く実現できると考えます。人間力開発の重要性をご理解頂き取り組むことを申し送ります。

必要な情報を共有し会員拡大への意識を高めるため拡大リストを作成しましたが、個人情報保護法などの問題からメーリングリストで取り扱う事が難しかったため配布の遅れや、最新の情報を随時発信することが出来ず、十分に活用出来ませんでした。そのためリスト作成時には拡大への意識を高めることが出来ましたが、継続して意識を高めていくことが出来ませんでしたので反省点とします。そして昨今の情勢を踏まえ、メーリングリストだけでなく他の有効な情報伝達の手段を確立し、必要な最新の情報を共有することが出来なかったことを反省点と致します。

またオリエンテーションでは、青年会議所メンバーとして必要な知識をVMVセミナー海部津島版で学び、人間力ドッジボールではチームで取り組む際の人間力の大切さを感じ、理事長による「77名の志」の講演にて志を同じするメンバーを育成することが出来ました。ですが3回のオリエンテーションを通しての出席率があまり高くありませんでした。オリエンテーション期間

内に積極的に出席することを指導できなかった点を反省点と致します。会員拡大の募集期間を出来る限り長く確保するために6月からの開始とさせて頂きました。しかし新入会員予定者のスケジュールを考えますと、次年度の始まる8月からかなりタイトなスケジュールとなってしまうので、オリエンテーションの開催期間や開催回数を再考する必要があると感じましたので申し上げます。

5. 委員長所見

人間力アカデミー委員会では、2回の例会と3回のオリエンテーションを担当させて頂き、これらすべてを手作りで開催させて頂きました。委員会メンバーの皆様の多大なご指導とご協力を頂くことで初めて実現できたことだと考えております。またご出席頂きましたメンバーの皆様には、当日いろいろなことをお願いしましたが、積極的に参加をして頂くことでスムーズに進行することが出来ました。心より感謝申し上げます。

また今年度は、7名の新入会員が入会しました。10月例会では、新入会員がメンバーの皆様の前に立ち、進行役を務めて頂きました。このように意識も高く積極的に取り組んで頂けるメンバーと共に青年会議所活動を行い、共に成長していきたいと思っております。

最後に、委員長という経験を積む機会を与えて頂き、お願いごとばかりでしたがご協力頂きましたLOMメンバーの皆様、ありがとうございました。

6. 収 支 決 算

収入の部				支出の部			
予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	30,000	事業費	26,406		30,000		26,406
合 計	30,000	合 計	26,406	合 計	30,000	合 計	26,406